

令和4年 第2回 大仙市議会定例会

# 市 政 報 告

令和4年5月24日

大仙市長 老 松 博 行

令和4年第2回大仙市議会定例会にあたり、諸般の状況について申し上げます。

はじめに、ウクライナ危機についてであります。

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が開始されてから早3ヶ月が過ぎております。この侵攻により一般市民を含め多くの尊い命が失われており、連日目を覆いたくなるような痛ましいニュースが報じられております。まさに国際社会における秩序の根幹を揺るがす深刻な事態であり、非核平和宣言都市である大仙市としても容認できるものではありません。侵攻が早期に終結し、ウクライナに1日も早く平和が訪れることを切に願うとともに、人道的な観点から、国や秋田県などと連携を図りながら求められる支援に取り組んでまいり所存であります。

次に、新型コロナウイルス感染症への対応についてであります。

全国の新規感染者数につきましては、総じて減少傾向を示しており、東京都や大阪府など18都道府県に適用されていたまん延防止等重点措置が3月21日付けですべて解除されております。これにあわせ感染症対策の基本的対処方針の改訂が行われ、新型コロナウイルスとの共存による社会経済活動の再開を図る方向に大きく舵が切られております。

秋田県におきましては、保育所や学校におけるクラスター感染をきつ

かけに若年層を中心に感染者が増加し、4月12日にはこれまでで最多となる445人の感染が確認されております。現在は幾分落ち着きを取り戻しておりますが、依然として予断を許さない状況が続いております。こうした中、県では、独自感染警戒レベルの見直しを行っており、病床使用率や重症者数などの医療提供体制の確保を重視した新基準を設定し、見直し後のレベルを「2」として4月26日から適用しております。

本市におきましても、こうした国や県の動きと連動する形で、ウイズコロナを前提に社会経済活動を活発化させたいと考えており、感染防止対策やワクチン接種の促進などにより感染拡大の抑制に努めながら、市民生活や地域経済の本格的な回復、そしてコロナ禍からの復興に向けた緊急経済対策に引き続き取り組んでまいります。

ワクチンの追加接種につきましては、市内3カ所の集団接種会場において2月24日に開始しており、5月23日現在で全市民の69.7%が3回目の接種を終えております。4回目の接種については、60歳以上の方と重症化リスクの高い方などを対象に、3回目接種から5カ月以上間隔を空けて接種することとしており、6月上旬の接種開始を目指して準備を進めております。

今後も、大曲仙北医師会や大曲厚生医療センターをはじめとする関係機関等と連携を図りながら、希望するすべての市民の皆様が速やかに接種できるよう取組を進めてまいります。

緊急経済対策については、現在、先の市議会臨時会において議決いただいた「飲食店等経営支援事業」や「宴会場施設運営支援事業」などを進めておりますが、今般、追加対策として地域の消費を喚起する「プレミアム付き地域商品券発行事業」や、依然として厳しい状況に置かれている事業者を支援する「テナント事業者支援給付金事業」を実施したいと考えており、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

次に、4月29日から2日連続で開催された「大曲の花火～SPRING FESTA～」についてであります。

本大会は、これまで別々に開催していた「新作花火コレクション」と「大曲の花火 春の章」を一体的に開催する初の試みであります。初日こそ雨に見舞われましたが、二日目は天候に恵まれ、日本の花火業界を担う若手花火作家による創意あふれる作品と、創立60周年を記念した日本煙火芸術協会とのコラボレーション花火が春の夜空を煌びやかに飾り、訪れた多くの観客の皆様を魅了しております。まさに「大曲の花火」の再始動にふさわしい大会になったものと思っております。

これにあわせて、丸子のこみちを中心にナイトマーケットが行われたほか、はなび・アムでの線香花火づくり体験や花火関連スポットを巡るウォーキングイベントなどが開催されており、感染防止と社会経済活動を両立する試金石としての役割を果たしたものと思っております。

次に、若者チャレンジ応援プロジェクトについてであります。

本年度から新たにスタートした本プロジェクトの要となる「だいせん Labo」が4月22日、ゲストハウス フォーシーズン1階の「コミュニティースペース GATHER」内にオープンしております。若者チャレンジの総合的なサポートとローカルイノベーションの拠点機能を担う組織として、企業や大学、金融機関、商工団体など様々な主体に参画をいただきながら、若者チャレンジが連鎖する好循環の実現に向けた「土壌づくり」と「人づくり」を進めてまいります。また、産学官の連携イベントや大学生のフィールドワークなどを通じ、ローカルイノベーションの創出に向けた環境づくりにも取り組んでまいります。

本プロジェクトは、大仙市としてもまさにチャレンジであり、若者が夢や希望を叶え、活躍する、活力ある大仙市に向けた新たな「成長エンジン」となりますよう取組に力を入れてまいります。

次に、SDGsの推進についてであります。

世界の共通目標であるSDGsの達成と持続可能なまちづくりの推進を図るため、国の「SDGs未来都市」への選定を目指してまいりましたが、今般、本市の提案が認められ、5月20日、内閣府で開催された選定証授与式において正式に選定をいただいております。

SDGs未来都市は、SDGsの達成に向け、「経済」「社会」

「環境」の三側面における新しい価値の創造を通じ、持続可能なまちづくりに取り組む優れた自治体を国が選定するもので、本年度は、本市を含めて30自治体が選定されております。

本市の提案では、脱炭素などの世界的な潮流を捉えつつ、SDGsを原動力に、自然環境の保全や経済産業の振興を実現するとともに、若者が躍動し、市民の皆様が健幸に暮らせる地域社会の構築を図ることで、「Well-being<sup>\*</sup>にあふれ 未来に向けて持続発展する 田園交流都市だいせん」を目指すこととしており、今般の選定を弾みとして、その実現に向けた取組を着実に進めてまいります。

次に、主な部局ごとに諸般の報告を申し上げます。

はじめに、総務部関係についてであります。

デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進につきましては、「大仙市DX推進ビジョン」に基づく取組を加速するため、国の外部デジタル人材任用制度を活用し、最高情報統括責任者を補佐する「CIO補佐官」をこの5月から配置しております。CIO補佐官が持つ幅広いネットワークを活かしながら、DXアクションプランの策定を進め、本市のデジタル変革の基本方針である「地域価値創造」「行政サービス向上」「行政運営効率化」を計画的かつ着実に推進してまいります。

また、3月18日には、「デジタルを活用した窓口サービスの利便性

向上事業」と「授業デジタル化支援事業」が、国の「デジタル田園都市国家構想推進交付金」に採択されております。こうした取組を通じ、市民生活に密接に関わる窓口サービスや、GIGAスクール構想の実現に向けた教育分野におけるデジタル変革を重点的に進めてまいります。

次に、企画部関係についてであります。

ウクライナ避難民への支援につきましては、5月9日、市内の民間事業者が県内で初めて避難者を受け入れております。市といたしましても、人道支援の一環として、戦禍をくぐり抜けてこられた避難者の心情に配慮しつつ、本市での生活基盤を早期に確立し、安心して暮らしていただくための生活支援について検討を進めているところであり、避難者が一日も早く平穏な生活を取り戻せるよう、県や秋田県国際交流協会と連携を図りながら、必要なサポートを行ってまいります。

関係人口の創出につきましては、3月14日付けで一般財団法人地域活性化センターの「移住・定住・交流推進支援事業助成金」の採択を受け、首都圏との交流イベントの開催などに取り組む民間団体を支援することとしており、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

次に、健康福祉部関係についてであります。

コロナ禍で様々な困難に直面している方々を支援する臨時特別給付金

につきましては、2月21日から順次給付を行っており、5月26日に予定している7回目の給付を含め、対象世帯の95.9パーセントにあたる8,095世帯への給付が完了する見込みとなっております。

「健幸まちづくりプロジェクト」につきましては、5月20日現在、310事業所4,044人を含む22,671人の皆様から参加をいただいております。本年度はこの参加の輪をさらに広げるため、4月から9月までの間、新規参加者に対し1,000円分のクオカードを、また、新規参加事業所に対し、先着で株式会社タニタ様から寄贈いただいたアルコールチェッカーを進呈するキャンペーンを展開しております。

さらに、市所有温泉施設7カ所に活動量計の歩数データなどを送信できるリーダーライターを新たに設置するとともに、健康づくりを継続していただけるよう、タニタグループとの連携のもと、参加されている全世帯に各種ガイドブックを配付したほか、歩数記録や取組状況へのメッセージを記載した歩数記録証をお届けする取組を進めております。

今般、こうした株式会社タニタ様の取組が高く評価され、国から紺綬褒章が授与されることとなり、4月13日に、同本社において私から谷田社長に褒状の伝達を行っております。今後も同社との連携を深めながら、市民の皆様の健康づくりをサポートするとともに、「日本一健幸なまち 大仙モデル」として全国に発信できるよう、創意に富んだ取組を展開してまいりたいと考えております。

保健事業につきましては、がん検診の受診率向上を図るため、新たにウェブ予約システムを導入し、5月20日に受付を開始しております。今後も受診しやすい体制の整備を進めるとともに、コール・リコール事業などによる受診勧奨に努め、がんの早期発見・早期治療につなげてまいります。

次に、農林部関係についてであります。

4月19日に市内の養鶏場で発生が確認された「高病原性鳥インフルエンザ」につきましては、事態の重要性に鑑み、同日午前8時に「大仙市特定家畜伝染病防疫対策本部」を設置し、県の対策本部と連携しながら防疫措置などの対応を行っております。同日中に疑似患畜374羽が焼却処分され、翌20日には鶏舎の消毒を含む全ての作業が完了しており、5月12日午前0時に移動制限区域が解除されております。こうした家畜伝染病については全国的にも発生が確認されており、今後も動向を注視しながら、県と連携した感染予防体制を整えてまいります。

水田の春作業につきましては、今冬の大雪の影響により作業の遅れが懸念されましたが、3月以降、急速に雪解けが進んだこともあり、田植え作業は順調に進捗し、5月21日に盛期を迎えております。今後も生育が順調に進むよう、県や関係団体と連携して肥培管理の徹底などを呼びかけてまいります。また、本年度からは「サキホコレ」の本格栽培が始まっており、大仙市内においては91経営体が120.6ヘクター

ルに作付けしております。全国的に米の消費量が縮小し、米価が低迷する中、県や関係機関と連携を図りながら、これまで以上に需要に応じた米の生産を促進するとともに、全国有数のコメ産地として「サキホコレ」のブランド化を推進してまいります。

「『農業と食』活性化推進事業」につきましては、農研機構東北農業研究センターとの連携により、水稻の無コーティング種子直播栽培に水田管理システムを組み合わせた実証栽培に取り組んでいるほか、県や秋田県立大学と連携し、農業用ドローンを活用した水稻直播栽培の実証を進めており、作業の省力化・低コスト化につながるスマート農業の実装と普及を推進してまいります。また、大仙市産日本酒ブランドの確立に向けた産学官連携プロジェクトである「宵の星々」については、昨年度の成功を受けて、本年度も連携した取組を継続しております。

「大豆産地化推進事業」につきましては、産地化のさらなる推進に向けて作付拡大に取り組んでおり、本年度の栽培面積は、昨年度より約124ヘクタール多い1,410ヘクタールとなる見通しとなっております。今後も関係機関と連携しながら収量や品質の向上につながる取組を促進するほか、生産体制の強化を図るため機械設備の導入等を支援することとしており、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

「第145回秋田県種苗交換会」につきましては、4月27日に大仙市協賛会が設立され、事業計画や収支予算などが承認されております。

大曲体育館を主会場に複数の協賛会場を設け、農産物の出品展示や農工商フェア、農業機械化ショーなどを実施することとしており、この機を捉えて本市の魅力を広く発信するとともに、地域資源を活かした独自の企画を展開し、本県農業の振興と地域の活性化につなげてまいります。

次に、経済産業部関係についてであります。

ハローワーク大曲管内の本年3月に卒業した高校生の就職状況につきましては、卒業者829人のうち241人が就職し、就職希望者の就職率は100パーセントとなっております。このうち、県内就職者は県平均よりも0.3ポイント高い80.5パーセントにあたる194人で、過去10年で最高水準となっております。こうした地元志向の高まりをチャンスと捉え、地元経済団体への求人票の早期提出要請や、管内高校への県内就職促進に関する要請を行うとともに、進学希望者に対して地元企業の情報を提供するなど、地元就職のメリットを積極的にPRし、若者の定着をより一層推進してまいります。

本市での創業を応援する「創業支援事業」につきましては、昨年度において、過去最多となる18名に対し助成金を交付しております。大曲地域で10件、西仙北、中仙及び仙北地域で各2件、神岡及び太田地域で各1件の実績となっており、コロナ禍で疲弊した地域経済に活力をもたらす明るい動きと捉えております。引き続き関係機関と連携を図りな

から取組を進め、地域産業・経済の活性化につなげてまいります。

新企業団地につきましては、第1期造成工事が3月18日に完成しております。整備した4区画のうち3区画については、既に3者から売渡しの申込みをいただいております。先般開催した佐藤副市長を委員長とする大曲企業団地優先交渉者選定委員会において、3者とも本企業団地への立地企業等としてふさわしいものと認め、優先交渉者として決定しております。

新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢等の影響を受け、経済動向は極めて不透明な状況となっており、可能な限り早期に設備投資を行い、売り上げ機会の確保に努めたいとする企業の要望に応えるため、今次定例会に財産の処分に係る単行案と補正予算案を上程しており、本会議初日での議決をお願いしております。用地の売渡しが完了しますと、それぞれの企業において工場等の整備が行われることとなり、いよいよ新企業団地の具体的な姿を市民の皆様にお披露目できるものと期待しております。

次に、観光文化スポーツ部関係についてであります。

JR大曲駅に併設する大仙市観光情報センターにつきましては、1階にある「ふれあい広場」の改修を計画しており、5月23日に実施設計業務を発注しております。空調設備の設置やトイレの改修に加え、新た

に自動ドアの設置などを予定しており、利用者の利便性向上と拠点としての機能充実を図ってまいります。

スポーツを通じた地方創生や市民の皆様の健康増進に資する拠点となる「多目的人工芝グラウンド整備事業」につきましては、令和5年7月の供用開始に向け各種工事が概ね順調に進捗しており、今般、管理棟の実施設計が完了したことから、今次定例会に建築工事に係る予算の補正をお願いしております。

3年ぶりの開催を目指す「第4回 全国500歳野球大会」につきましては、県外から、前回大会より4チーム多い26チームが参加し、県内の6チームを加えた32チームによるトーナメント戦が行われる予定となっております。万全な感染防止対策のもと、県内外から多くの皆様をお迎えし、本市の文化や観光、特産品など様々な魅力を積極的に発信することで、交流人口の拡大と地域活性化につなげてまいります。

次に、建設部関係についてであります。

国の社会資本整備総合交付金を財源に実施する「橋りょうの長寿命化」及び「通学路歩道整備」に関する事業につきましては、今般、当初の見込みを上回る交付金の配分があったことから、計画事業のさらなる進捗を図るため、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

「雄物川改修整備促進期成同盟会」並びに「国道13号大曲・秋田

間整備促進期成同盟会」につきましては、5月16日に通常総会を開催し、本年度の事業計画等が承認されております。また、「地域高規格道路本荘大曲道路整備促進期成同盟会」につきましても、同日に設立総会を開催し、設立の趣旨や役員、事業計画等が承認されております。今後も重要なインフラである道路や河川が抱える課題の着実な改善に向け、関係機関に対する積極的な要望活動を行ってまいります。

次に、教育委員会事務局関係についてであります。

昨年9月から整備を進めておりました西仙北地域の「刈和野大綱展示場」につきましては、5月9日、関係者約30人の出席のもと、竣工式を執り行っております。展示する大綱のレプリカは、西仙北中学校と西仙北高校の生徒が綱よい作業を行い完成したもので、次世代を担う若者の思いが込められた綱であります。今後、この大綱の展示を通じて地域の伝統文化である「刈和野の大綱引き」の発展・継承に向けた機運を醸成するとともに、JR刈和野駅から臨める立地を活かしながら、本市を代表する文化観光資源として県内外に広くPRしてまいります。

最後に、令和3年度の一般会計、特別会計及び企業会計の決算概況について申し上げます。

一般会計につきましては、令和3年度の市税収入が当初の見込みを

上回ったことに加え、豪雪に伴う除排雪経費や、高齢者世帯への灯油助成をはじめとする原油高騰対策経費などの財政需要が特別交付税に反映されたことなどにより、一定の財源が確保されたほか、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた多くの事業が中止、または縮小を余儀なくされたことなどから歳出経費が縮減しており、昨年度を上回る黒字決算となる見込みであります。

国民健康保険事業特別会計をはじめとする特別会計につきましては、全会計において実質収支がゼロ、または黒字となる見込みであるほか、企業会計の収益的収支における純利益は、市立大曲病院事業会計で約6,500万円、水道事業会計で約1億2,000万円、簡易水道事業会計で約1億4,000万円、並びに下水道事業会計で約6億円となる見込みであります。

以上、諸般の状況をご報告申し上げましたが、今後とも、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げまして、市政の報告とさせていただきます。

別添

令和4年第2回大仙市議会定例会

## 市政報告（諸般の報告）

令和4年5月24日

大 仙 市

## 目 次

### 【総務部】

- 1 消防団音楽隊の発足について ..... 1
- 2 消防団OB団員制度について ..... 1

### 【健康福祉部】

- 3 自殺予防対策について ..... 1
- 4 母子保健について ..... 1

### 【農林部】

- 5 農業経営体の育成について ..... 1
- 6 園芸メガ団地について ..... 2
- 7 鮭の稚魚放流式について ..... 2
- 8 クマの出没について ..... 2

### 【観光文化スポーツ部】

- 9 秋田新幹線こまち開業25周年関連企画について ..... 2
- 10 柵の湯について ..... 3
- 11 歴史文化施設の公開について ..... 3

### 【建設部】

- 12 雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業（国）について ..... 3
- 13 国道関係事業について ..... 3
- 14 災害復旧関連事業等（県）について ..... 3

### 【上下水道局】

- 15 上水道事業について ..... 3
- 16 簡易水道事業について ..... 4
- 17 下水道事業について ..... 4

### 【新型コロナウイルス経済対策】

- 18 経済対策 4月臨時会 ..... 4

## 【総務部】

### 1 消防団音楽隊の発足について

消防団音楽隊につきましては、令和4年4月27日に辞令交付式を執り行い、55名の隊員で構成される消防団音楽隊が発足しております。演奏活動を通じて防火防災の啓蒙や消防団活動のPRを行うほか、大規模災害時には避難所運営等にも従事することとなっており、令和5年1月5日の消防出初式でのデビューを目指し、5月から本格的に練習を開始しております。

### 2 消防団OB団員制度について

消防団OB団員制度につきましては、機能別消防団員として30年以上の勤続経験を有する消防団OBの募集を行っており、5月1日現在、13名の方から入団いただいております。災害時の後方支援活動のほか、現役団員への技術指導や新規団員の勧誘などに取り組んでいただくこととしております。

## 【健康福祉部】

### 3 自殺予防対策について

自殺予防対策につきましては、小中学生を対象に実施してしている「SOSの出し方教育」に「ゲートキーパー養成事業」を追加するとともに、相談先の一覧を記載した「おまもり型リーフレット」を児童生徒に配布しております。

### 4 母子保健について

母子保健につきましては、5歳児とその保護者を対象に、健やかな成長や発達、就学に向けた生活習慣等を確認する機会となる5歳児相談会を開始しております。

## 【農林部】

### 5 農業経営体の育成について

農業経営体の育成につきましては、農業法人・施設利用組合に対する生産機械等の導入支援や、農業分野における起業に向けたビジネス塾の開講など、意欲ある若手経営者を応援する取組を進めております。

## 6 園芸メガ団地について

中仙地域の園芸メガ団地につきましては、6月下旬の初出荷に向け、4月26日から5月4日にかけてトマトの定植作業が行われております。本年度からは、トマトやネギに加え新たにオクラの栽培にも取り組んでおり、高収益が見込まれる複数品目での複合型生産構造への転換に向けた取組が進められております。

大曲地域内小友地区において、本年度から本格的な栽培がスタートしたネギのサテライト型メガ団地につきましては、今月8日に定植作業が始まり、あわせて3.2ヘクタールへの作付けが予定されております。

## 7 鮭の稚魚放流式について

4月14日、玉川橋下流右岸において鮭の稚魚放流式が開催され、約4万尾の放流を行っております。鮭の稚魚放流については、鮭資源等確保活用事業として同日までにあわせて8.2万尾の放流を行っており、今後も鮭資源の安定的な確保に向けて鮭の採捕・孵化放流に取り組んでまいります。

## 8 クマの出没について

クマの出没につきましては、5月23日現在、7件の目撃情報が寄せられております。今後、クマの活動が活発化する季節となることから、引き続き市民の皆様にご注意喚起を行うとともに、必要な対策を講じてまいります。

### 【観光文化スポーツ部】

## 9 秋田新幹線こまち開業25周年関連企画について

秋田新幹線こまち開業25周年関連企画が、4月14日、JR大曲駅において行われております。本企画は3月19日に予定されていたもので、3月16日発生の福島県沖を震源とする地震の影響により延期となっていたものであります。

当日は、秋田新幹線こまちの利用者に対し、駅ホームでの出迎えやノベルティ配布などを行ったほか、駅東口にて大仙市観光物産協会、大曲商工会議所及び大仙市商工会による仕掛け花火が打ち上げられ、開業25周年を祝うとともに「花火のまち大仙市」を訪れた皆様へPRしております。

## 10 柵の湯について

柵の湯につきましては、今年1月の源泉ポンプ故障により中里温泉から源泉を運搬して営業を継続しておりましたが、この度、源泉井戸の洗浄及びポンプの交換工事が完了し、4月28日に温泉供給を再開しております。

## 11 歴史文化施設の公開について

本市の歴史文化施設である「旧池田氏庭園」「払田柵跡」「角間川・川のまち歴史交流の杜」の3施設が、4月29日に公開を開始しております。このうち旧池田氏庭園については、4月20日から3日間、プレオープン企画として無料開放しており、美しい桜で彩られた春の庭園が、訪れた皆様の目を楽しませております。

### 【建設部】

## 12 雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業（国）について

国の「雄物川河川激甚災害対策特別緊急事業」につきましては、西仙北地域の強首地区、寺館・大巻地区及び正手沢地区、並びに協和地域の中村・芦沢地区及び岩瀬・湯野沢地区の築堤等工事が継続実施されており、令和4年度をもって完了する見込みと伺っております。

## 13 国道関係事業について

協和地域の国道46号荒川地区の線形改良事業につきましては、令和3年度をもって完了しており、これに引き続き、国道46号稲沢地区の稲沢歩道整備事業が実施されると伺っております。

## 14 災害復旧関連事業等（県）について

淀川、土買川及び檜岡川に係る河川災害関連工事につきましては、令和3年度をもって完了しており、これに引き続き、県管理河川の改修事業が実施されると伺っております。

### 【上下水道局】

## 15 上水道事業について

上水道事業につきましては、水道水の安定的な供給を図るため、引き続き、大曲地域のあけぼの町、戸蒔字松ノ木地内などにおいて、老朽化した配水管の改良工事を進めてまいります。

## 16 簡易水道事業について

簡易水道事業につきましては、大曲地域の松倉地区及び内小友中山地区の水道未普及地域を解消するため、引き続き、配水管拡張工事を進めてまいります。また、協和南部地区の配水管更新事業につきましても、引き続き、管路の布設替工事を進めてまいります。

## 17 下水道事業について

農業集落排水処理施設の統合に向け、管渠接続工事を進めている神岡地域の神岡東部処理区につきましては、6月中旬の工事発注を予定しております。また、西仙北地域の川里地区農業集落排水施設における機械・電気設備等改修工事につきましては、6月下旬の発注を予定しております。

### 【新型コロナウイルス経済対策】

## 18 経済対策 4月臨時会

### (1) 飲食店等経営支援事業

市内に事業所を有する令和元年の売上額120万円以上の個人事業主または中小企業で、令和3年の売上額（法人は直近決算期の売上額）が令和元年比で20%以上減少した事業者に対し、1事業所あたり20万円を給付するもので、原則電子申請としております。入力サポート会場を設置したことなどから、大きな混乱もなく、5月20日時点で電子申請による割合は89.7%となっており、165件の申請を受け付け、1,040万円を給付しております。

### (2) 酒蔵支援事業

市内に酒蔵を有する事業所に対し100万円を給付するもので、5月20日時点で8件の申請を受け付けております。

### (3) 宴会場施設運営支援事業

大人数での利用が可能な宴会場を所有する事業所に対し、年間売上額と売上額の減少率に応じて支援するもので、5月20日時点で10件の申請を受け付けております。

**(4) コンベンション施設運営支援事業**

大規模なイベント開催用の複合施設を運営する事業所に対し、会議場の面積に応じて支援するもので、5月18日時点で4件の申請を受け付け、2,000万円を給付しております。

**(5) 宿泊業等支援事業**

令和3年12月から令和4年2月までのいずれかの月の売上額が、令和元年同月比で20%以上減少した宿泊事業者に対し、収容定員と利用者数に応じて支援するもので、5月18日時点で4件の申請を受け付け、140万円を支給しております。

**(6) 観光交通事業者支援事業**

市内の貸切観光バス、タクシー及び自動車運転代行業者に対し、車両規模に応じて支援するもので、5月18日時点で24件の申請を受け付け、799万円を支給しております。

**(7) 「全国へ届け大仙の味～夏の陣～」特産品発送支援事業**

本市特産品の販売を促進することで消費を喚起し、特産品の販路拡大につなげることを目的に特産品の送料を助成するもので、7月から8月にかけて実施する予定としております。